【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年2月27日(2020.2.27)

【公開番号】特開2018-143366(P2018-143366A)
【公開日】平成30年9月20日(2018.9.20)
【年通号数】公開・登録公報2018-036
【出願番号】特願2017-39637(P2017-39637)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｎ　1/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｎ　1/04

【手続補正書】
【提出日】令和2年1月10日(2020.1.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
表面および裏面を有し、前記表面から前記裏面に到達する貫通孔が設けられるとともに、前記裏面にパッド側電極が形成されたパッドと、
板状部を有し、前記板状部が前記パッド側電極に対向するように前記パッドの前記裏面の側に配置されたホルダと、
対向面および前記対向面の側に設けられた本体側電極を有し、前記対向面が前記パッドの前記表面に対向するように配置され、前記対向面と前記ホルダとの間で前記パッドを挟み込むように前記ホルダに着脱可能に取り付けられる本体と、
前記本体側電極と前記パッド側電極とを電気的に接続する配線部材と、を備え、
前記配線部材は、
前記本体側電極に接続される第１端部と、
前記パッド側電極に接続される第２端部と、
前記第１端部と前記第２端部とを導通させ、自身の一部が前記貫通孔を通り抜けるように配置される導通部と、を含み、
前記配線部材の前記導通部は、前記第１端部の側の位置に第１弾性部を有しており、当該第１弾性部の付勢力によって前記第１端部を前記本体側電極に圧接させており、
前記ホルダは、前記本体に係合する係合部をさらに有し、
前記係合部が前記本体に係合することで前記ホルダが前記本体に取り付けられている状態においては、前記第１弾性部の前記付勢力によって前記ホルダは前記本体から遠ざかる方向の力を受けている、
低周波治療器。
【請求項２】
前記ホルダは、前記板状部から突出するように設けられた突出部を含み、
前記突出部は、前記ホルダが前記パッドの前記裏面の側に配置された状態では、前記パッドの前記貫通孔を通り抜けるように配置されており、
前記配線部材の前記導通部のうち、前記貫通孔を通り抜けるように配置されている前記一部は、前記突出部によって保持されている、
請求項１に記載の低周波治療器。
【請求項３】

前記本体の前記対向面には、差込口が形成されており、
前記本体側電極は、前記差込口の内側に設けられており、
前記本体が前記ホルダに取り付けられている状態では、前記突出部は前記差込口の中に差し込まれており、前記第１端部は前記本体側電極に当接している、
請求項２に記載の低周波治療器。
【請求項４】
前記配線部材の前記導通部は、前記第２端部の側の位置に第２弾性部を有しており、当該第２弾性部の付勢力によって前記第２端部を前記パッド側電極に圧接させている、
請求項１から３のいずれか１項に記載の低周波治療器。
【請求項５】
前記ホルダの前記板状部には、段差領域が凹設されており、
前記配線部材の前記導通部は、前記段差領域の内側に配置された部分を有している、
請求項１から４のいずれか１項に記載の低周波治療器。
【請求項６】
前記パッドの前記裏面と前記ホルダの前記板状部とは、接着手段を介して互いに接合されている、
請求項１から５のいずれか１項に記載の低周波治療器。
【請求項７】
低周波治療器に備えられる、低周波治療器用の本体であって、
前記低周波治療器は、
表面および裏面を有し、前記表面から前記裏面に到達する貫通孔が設けられるとともに、前記裏面にパッド側電極が形成されたパッドと、
板状部を有し、前記板状部が前記パッド側電極に対向するように前記パッドの前記裏面の側に配置されたホルダと、を含み、
前記本体は、対向面および前記対向面の側に設けられた本体側電極を有し、前記対向面が前記パッドの前記表面に対向するように配置され、前記対向面と前記ホルダとの間で前記パッドを挟み込むように前記ホルダに着脱可能に取り付けられ、
前記低周波治療器は、前記本体側電極と前記パッド側電極とを電気的に接続する配線部材をさらに含み、
前記配線部材は、
前記本体側電極に接続される第１端部と、
前記パッド側電極に接続される第２端部と、
前記第１端部と前記第２端部とを導通させ、自身の一部が前記貫通孔を通り抜けるように配置される導通部と、を含み、
前記配線部材の前記導通部は、前記第１端部の側の位置に第１弾性部を有しており、当該第１弾性部の付勢力によって前記第１端部を前記本体側電極に圧接させており、
前記ホルダは、前記本体に係合する係合部をさらに有し、
前記係合部が前記本体に係合することで前記ホルダが前記本体に取り付けられている状態においては、前記第１弾性部の前記付勢力によって前記ホルダは前記本体から遠ざかる方向の力を受けている、
低周波治療器用の本体。
【請求項８】
低周波治療器用のパッドとホルダとの組み合わせであって、
前記パッドは、表面および裏面を有し、前記表面から前記裏面に到達する貫通孔が設けられるとともに、前記裏面にパッド側電極が形成され、
前記ホルダは、板状部を有し、前記板状部が前記パッド側電極に対向するように前記パッドの前記裏面の側に配置され、
前記低周波治療器は、
対向面および前記対向面の側に設けられた本体側電極を有し、前記対向面が前記パッドの前記表面に対向するように配置され、前記対向面と前記ホルダとの間で前記パッドを挟

み込むように前記ホルダに着脱可能に取り付けられる本体と、
前記本体側電極と前記パッド側電極とを電気的に接続する配線部材と、を備え、
前記配線部材は、
前記本体側電極に接続される第１端部と、
前記パッド側電極に接続される第２端部と、
前記第１端部と前記第２端部とを導通させ、自身の一部が前記貫通孔を通り抜けるように配置される導通部と、を含み、
前記配線部材の前記導通部は、前記第１端部の側の位置に第１弾性部を有しており、当該第１弾性部の付勢力によって前記第１端部を前記本体側電極に圧接させており、
前記ホルダは、前記本体に係合する係合部をさらに有し、
前記係合部が前記本体に係合することで前記ホルダが前記本体に取り付けられている状態においては、前記第１弾性部の前記付勢力によって前記ホルダは前記本体から遠ざかる方向の力を受けている、
低周波治療器用のパッドとホルダとの組み合わせ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
特許文献１（特開平０６－３３９５３１号公報）に開示された低周波治療器においては、治療器本体が、上半部分（本体）と下半部分（ホルダ）とから構成されており、上半部分と下半部分との間にパッドが配置される。パッドは、表面および裏面を有しており、パッドの表面側に、本体の上半部分が配置され、パッドの裏面側に、本体の下半部分が配置される。パッド側電極は、パッドの裏面側に設けられている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
パッド側電極２Ｅ，２Ｆは、パッド２の取付部２Ａの裏面２Ｔに位置しており、パッド２の短手方向に対して平行な方向に延在する形状を有している。パッド側電極２Ｅ，２Ｆは、本体側電極４ＤＡ，４ＤＢ（図７参照）との電気的接続のために形成されている。詳細は図３，図５～図７等を参照して後述するが、パッド側電極２Ｅは、配線部材５Ａを介して本体側電極４ＤＡに電気的に接続され、パッド側電極２Ｆは、配線部材５Ｂを介して本体側電極４ＤＢに電気的に接続される。